

# かがやき通信 第15号 通算第101号

◆ <http://potato7.hokkai.net/~kagayaki/>

◆ [kagayaki@potato7.hokkai.net](mailto:kagayaki@potato7.hokkai.net)

就労継続支援B型事業所「かがやき工房」



〒070-0035 旭川市5条通5丁目1690-1  
TEL・FAX 0166-29-1294

◆御輿行列がやってきた！	1P
◆防災訓練	2P
◆新メンバーの紹介・北海道新聞掲載報告	3P
◆パストラル編・善意の贈り物等	4P

7月22日(月) かがやき工房前にて上川神社祭のパレードに遭遇しました！  
私は初めて拝見したので、とても迫力のあるおひなさまを見たような気分になり、スマホを取りに思わず駆け出して、写真を撮りました！  
幸い、近くに信号もあったので、赤で止まった車を撮ることが出来、嬉しかったです。獅子舞もやってきたので、職員さんと私は頭をかじってもらいました。なので、今年は良い事がありそうです！  
みんなで「お稚児さんも見たいね」と話しながら待っていたのですが、少子化だからなのか子供たちの代わりに、七福神に扮した大人たちが車に乗ってパレードを盛り上げてくれました。自衛隊の車に乗った神主さん？みたい

二〇一九年(令和元年度)  
上川神社例大祭開催  
「かがやき工房前」  
神輿行列がやって来た！



真っ赤な傘と布に覆われた車に宮司が乗って思わずカシャ

な人達は私たちに手を振ってくれました。私たちは急いで飛び出したのでお賽銭の人にあげられなくて、申し訳ない気持ちにもなりましたが、めずらしいパレードを拝見できて、とてもラッキーだったと思います。(川辺)



七福神やお稚児さんが祭りの雰囲気の花を添えています

## 上川神社の祭事(2020)

例大祭は神社の3大祭である祈年祭、例祭、新嘗祭のなかで最も規模の大きな祭として、1年に1度行われる神社最大の重儀であり、御神徳を奉讃し御神恩に感謝の誠を捧げ、氏神と氏子との関係を一層緊密にするとともに、郷土の人々に健全な和楽を与え、清く明るく直く正しい明朗闊達な意気をたかめ、郷土の発展を祈る重要な意義を持つものです。  
(上川神社HPより)





【訓練の目的地】  
日章小学校の正門



6月28日(金)、当かがやき工房では毎年恒例になっている「防災訓練」を、この日工房に出勤又は利用者さんの参加した人数は併せて約8人でした。工房の近くに隣接している日章小学校の正門まで急ぎ足で避難しました。この日は事前に今日訓練すると知らされていましたが、何時からなのかまでは知らなかったのですが、合図があった時には一瞬驚き、慌てて逃げ出したのを覚えております。後で思った事ですが、これが実際の事だったらどんなにびっくりすることやら…。と思っただけでも背筋が凍りつきました。

(北川)

《かがやき工房 恒例行事》

# 防災訓練

を実施しました



## 防災訓練

☆ひとコマ♪☆



## 防災あれこれ

かがやき工房では、毎年職員と利用者で防災訓練を行っています。

今年も順調に避難できました。

大災害が発生した時、支援を要する障害者や難病の方への情報が掲載されたNHKインターネットサイトがあります。日頃からどのように災害に備えればいいのか、防災や減災のためのヒントを障害等別にまとめられていて、是非参考にして下さい。

障害者 防災 NHK



NHK災害時障害者のためのサイト

災害時  
障害者のためのサイト

普段から準備されませんか↓↓↓

～非常持ち出し品の例～

- ・非常食、飲料水、乾パン、缶詰、ペットボトル入り飲料水
- ・必需品  
貴重品(現金、通帳、印鑑、保険証など)、医薬品(常備薬、お薬手帳、ばんそうこう、包帯、消毒液など)、ヘルメット、マスク、軍手、衣類、下着、毛布、タオル、携帯電話など

# 新メンバーの紹介

## 川辺純子 さん

初めまして、この度かがやき工房で働かせていただくことになりました、川辺純子です。

今はグループホームから通っています。高橋さんはじめ、仲間の方々はとても心が広いので、いつも助けてもらい精神的にも私の癒しの場となっておりますが、それに甘えず、早く、頑張って仕事を覚えたいです。よろしくお願いいたします。



よろしく  
お願いします

## 工房の活動が、北海道新聞で 紹介されました

パストラルの前田さんが  
新聞に掲載されました！

### ネズミの年賀状 印刷チュー 旭川 就労支援事業所 作業ピーク



多彩なネズミが描かれた年賀状

即走も半ばに入り、難病「授産施設として設立。年賀状受注のほか、ホームページ作成代行や会報誌の製本（旭川市5の5）では、年賀状の印刷作業がたけなわいた。印刷には、別が上がった来年のネズミが描かれた多彩な年賀状が積み上げられている。

同工房は、1998年に道内初の難病患者のための

に普通客が多い。

同工房での作業は、パソコン上から始められ、印刷機に依頼者の名前やあいさつ文を加え、印刷。一枚一枚持れやにじみがないか確認する。作業にあたり



「おびったの障害者支援センター」前田 美智子さん（旭川市）

旭川市障害者福祉センター「おびった」の喫茶バストルで、80歳を超えた今も接客や配膳を担当する。センターが開校された2002年から勤め、17年が過ぎた。前田市は、若い頃の病気が原因で、配膳に障害がある。喫茶は昨年先立たれ、市内で1人暮らしで長く続けた。（佐々木麻美）

「おびった」の喫茶バストルで、80歳を超えた今も接客や配膳を担当する。センターが開校された2002年から勤め、17年が過ぎた。前田市は、若い頃の病気が原因で、配膳に障害がある。喫茶は昨年先立たれ、市内で1人暮らしで長く続けた。（佐々木麻美）

かがやき工房での年賀状印刷作業とおびったの軽食喫茶「パストラル」で長年勤められている前田さんが、北海道新聞の朝刊に載りました。毎年恒例となっている年末までの年賀状印刷は、9月から準備を始めて約4ヶ月にわたる長期の作業です。利用者は、様々なアイデアを出し見本を作成して、自分の作成した見本がお客様に選ばれるのが何より楽しみです。また、パストラルで働く事が「いきがい」と話されている前田さん、私も笑顔の前田さんに癒された1人です。工房は利用される皆さんの頑張りの拠り所ですね。（側）



# 令和元年12月 忘年会

## 工房&パストラール

令和元年十二月二十七日(金)、かがやき工房にて忘年会が行われました。場所が狭い為に人数は写真に載ってる4人と他に3人、と工房の人達7人の計14人が参加しました。



「銀のさら」からの出前寿司



上の写真は始まる前です。料理は質素の様に思えるでしょうか?でも沢山食べれて満足、満足(\*^\_^\*)

今年の夏頃、市内に住んでいる女性の方から当工房にハガキ(200枚)、郵送されてきました。  
今の時代に何と!! こういう善意に満ちあふれている方って僅少だと思います。  
心から有難うと感謝の気持ちで一杯になりました(全員で)。



### ♪ 編集後記 ♪

▲今回のかがやき通信の作業は、工房に入ってから1年を経過して初めての大きな仕事でした。完成まで時間が掛かり見づらいう等反省点を教訓として、これから頑張っていく予定です。よろしくお願いたします。(側)



難病患者的働く場所の「かがやき工房」は2014年4月1日から一般社団法人 旭川翔輝会 就労継続支援B型事業所 かがやき工房となっております。